

日本留学試験 特殊協助需求表

Examination for Japanese University Admission for International Students

※本需求表及證明文件須於報名期間內寄出※

如需申請特殊協助或自備醫療物品／輔具者，請列印並詳填下附「日本留学試験 受験上の配慮申請書」(共5頁)，內容須以日文或英文填寫，並請留意以下事項：

(a) 5・障害等の内容

請勾選障礙類別，並於底下方框內詳述障礙程度等。

(b) 6・希望する受験上の配慮事項の内容

請勾選欲申請之特殊協助項目，如有未列出者，請於下方備考欄內詳述。

(c) 7・添付資料

6.表格中標記★者，必須檢附明確記載檢查結果/數值及對考生日常生活的影響及具體需協助事項之文件（如日文或英文版醫師診斷證明、身心障礙證明正反面等，影印本可）。惟，審核過程中如日方認為資料不足，將請考生追加提供其他文件。

(d) 8・これまでに日本留学試験以外の試験で受けた配慮

曾參加 EJU 以外其他測驗且申請特殊協助獲准者，請具體說明。如有相關證明文件影本或師長說明書亦請附上，格式不拘。

(e) 9・これまでに学校生活上で受けた配慮

在學時（如上課、考試等）曾申請特殊協助獲准者，請由師長提供在校協助情況之具體說明，格式不拘。

上述文件請於報名期限內寄出，申請文件恕不退還，如有需要，請於寄出前自行影印留存。申請事項經主辦單位日本學生支援機構（JASSO）審核後，視情況予以配合，並於考前寄發「受験上の配慮事項決定通知書」。未於報名時提出申請者，恕難於測驗當天臨時安排。其他說明事項如下：

- (1) 成績查詢畫面及「成績確認書」上不會顯示考生申請特殊協助，惟申請通過「免考聽力測驗」者，「聽解・聽読解」項目及日本語科目總分將顯示為「---」，並於備考欄中註記「障害に対する受験上の配慮として聴解・聴読解試験の免除を行った」。
- (2) 大學端向 JASSO 申請調閱考生成績時，JASSO 不會主動告知學校考生申請特殊協助，惟申請「免考聽力測驗」者，處理方式同上(1)。
- (3) 考生所提供之證明文件如有造假，主辦單位保留未來禁止其參加本測驗之權利，謹此聲明。





日本留学試験 (EJU) 受験上の配慮申請書

20 年 月 日

独立行政法人日本学生支援機構
留学生事業部 留学試験課長 殿

私は、日本留学試験受験に際して、下記のとおり受験上の配慮を希望します。

記

1. 申請者の情報

受験者本人	氏名(アルファベット)	※出願する氏名のとおりに書いてください。		
	氏名(カタカナ)			
	生年月日	年	月	日
	住所			
	TEL		E-mail	
	所属学校名			

受験上の配慮事項決定通知書の送付先 受験者本人 代理人 (どちらかをチェック)

過去に日本留学試験を受験したことがある はい いいえ (どちらかをチェック)

→ (はいの場合) 受験番号: _____ (わかる場合のみ書いてください)

以下は、代理人が申請する場合のみ記入してください。

代理人	氏名		受験者との関係	
	住所			
	TEL		E-mail	

2. 希望する試験回 20____年度 第____回

3. 受験予定地 日本 日本以外の国・地域 (どちらかをチェック)

受験予定の都市名: _____

4. 受験予定科目 日本語 理科 総合科目 数学 (当てはまるものにすべてチェック)

5. 障害等の内容（該当するチェック欄に✓をつけてください。）

身体的な障害

■視覚障害 : 全盲 弱視 (補正あり 補正なし) その他()

■聴覚障害 : 聾 難聴 その他 ()

■肢体不自由 : 上肢 下肢 その他 ()

上記以外（怪我、病気など）：

発達的な障害

限局性学習症（SLD）

注意欠如多動症（ADHD）

自閉スペクトラム症（ASD）

その他、上記以外：

この欄に、障害の程度を詳しく記入してください。怪我等により配慮を希望する場合も状況を詳しく記入してください。
(記入しきれない場合は別紙に記入して提出すること。)

6. 希望する受験上の配慮事項の内容（該当するチェック欄に✓をつけてください。）

配慮の種別	配慮内容		根拠資料	チェック欄
試験会場に関する配慮	試験室入口までの付添者の同伴		—	
	試験会場への自動車による入構		—	
試験室や座席に関する配慮	試験室の配置	トイレ(バリアフリー)に近い試験室での受験	—	
		1階またはエレベーターが利用可能な試験室での受験	—	
		別室での受験 <input type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 少人数 (※5)	★	
	座席位置配慮	窓側の明るい座席を指定	—	
		スピーカー近くの座席を指定	—	
		出入り口に近い座席を指定	—	
	受験時の配慮	試験室内に介助者・補助犬等の同伴	★	
		可動式机・椅子での受験	★	
		車椅子の持参使用	—	
		特製机・椅子の持参使用	—	
問題提示及び解答方法に関する配慮	注意伝達方法	注意事項等の文書による伝達	★	
	問題提示方法	拡大問題冊子の配付 (A4→A3 へサイズ拡大)	★	
		点字による出題	★	
	解答方法	拡大解答用紙の配付 (A4→A3 へサイズ拡大)	★	
		解答用紙への文字記入による解答 (日本語記述以外/A4 サイズ)	★	
		問題冊子への直接記入による解答 (日本語記述及び聴解以外/A4 又は A3 サイズ)	★	
		解答用紙へのチェックによる解答 (日本語記述以外/A4 又は A3 サイズ)	★	
		点字による解答	★	
		代筆者による解答	★	
		聴解・聴読解試験の免除 <input type="checkbox"/> 別室受験 <input type="checkbox"/> 通常受験	★	
		持参使用	点字器等の持参使用	★
	拡大鏡(電子機能なし)の持参使用		★	
	補聴器又は人工内耳の装用 (※6)		★	
	イヤホン又はヘッドホンの持参使用		★	
	太い弦の眼鏡(不正乱視用)の装用		★	
	ペン型、PC型リーダー(音声読み上げ用)の持参使用		★	
	遮光眼鏡(各色レンズ眼鏡)の装用		★	
	リーディングルーラー(電子機能なし)の持参使用		★	
拡大読書器(モバイル型、据え置き型)の持参使用	★			
試験時間に関する配慮	解答時間の延長 <input type="checkbox"/> 1.3倍 <input type="checkbox"/> 1.5倍 (※7)		★	
	※延長を希望する科目にすべてチェックしてください。 <input type="checkbox"/> 日本語 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 総合科目 <input type="checkbox"/> 数学			

※「試験時間中の持参使用等に関する配慮」は次のページをご参照ください。

配慮の種別	配慮内容		根拠資料	チェック欄
試験時間中の持参使用等に関する配慮	持参使用 および 試験時間中の 使用動作	帽子の装用	—	
		眼帯の装用	—	
		ギブスの装用	—	
		クッションの持参使用	—	
		手袋の装用	—	
		自助具（指の低握力補助具等）の持参使用	—	
		歩行器の持参使用	—	
		試験時間中の服薬（内服薬、外用薬）	—	
		試験時間中の飲食（補助食品）	—	
		試験時間中の点眼	—	

- ※1 これらの配慮事項は、障害等の種類や程度にかかわらず、申請者が必要な事項を、必要に応じて申請することができます。
- ※2 複数の配慮事項を申請することや、上表に記載がない配慮事項を申請することもできます。（上表に記載がない配慮事項を申請する場合、「備考欄」に具体的に記載してください。）
- ※3 第二希望がある場合は、「備考欄」に具体的に記載してください。（例：「別室が認められない場合は、出入り口に近い座席を希望する。」など。）
- ※4 試験会場の設備等の制約等により、希望する配慮事項が実施できない場合がありますので予めご了承ください。
- ※5 「試験室の配置」のうち、「別室での受験」を希望する場合又は別室対応となる配慮内容を希望する場合、受験者の症状及び受験方法（試験時間の延長の有無等）によって、別室を許可された他の受験者と同室になる場合があります。特に「個室」（試験室に受験者1名）を希望する場合は、明確な理由を「備考欄」に記載してください。
- ※6 補聴器・人工内耳は使用できますが、無線通信機能（FM電波やBluetooth）を用いた補聴援助システムは使用できません。
- ※7 「解答時間の延長」を希望する場合、延長を希望する時間及び科目にチェックをつけてください。また、その時間が必要であることがわかる根拠資料を併せて提出してください。参考として、日本の高等教育では、標準的に1.3倍、1.5倍が使われています。

備考欄

7. 添付資料（根拠資料の提出について）

- ※6. の表で「根拠資料」欄に「★」が記載されている項目を希望する場合、希望する配慮事項の必要性を裏付ける根拠資料を併せて提出してください（写しでも可）。
- ※根拠資料には、障害等の状況を客観的に説明した各種検査結果（数値等を含む検査結果等）と、その結果に基づいた詳しい所見や学校生活状況を記載してください。加えて、その障害等の状況が、希望する配慮事項とどのように関わるかを具体的に説明した記載が必要です。
- ※日本語以外の書類には、日本語もしくは英語の訳を添付してください。
- ※提出された書類では情報が不十分な場合は、追加の情報や書類等の提出を求めることがあります。

【例】①公的機関が発行した障害について認定した書類（障害者手帳等）

②適切な診断基準に基づいた医師の診断書

※ 医師の診断書には、適切な診断基準に基づいた機能障害に関する記述が必要です。

③標準化された心理検査の結果

※あなたの障害を適切に説明する標準化された心理検査を提出してください（例：WISC-IV、WAIS-IV、KABC-II等）。標準化された心理検査以外の検査を添付する場合は、その検査の詳細な説明を添えてください。

※実施日や実施者が書かれていない、または心理検査が特定の地域のもの、独自のものである場合には、根拠資料にならない場合があります。

④これまでに学校生活上で受けた配慮についての資料（個別の教育計画/個別の支援計画）

8. これまでに日本留学試験以外の試験で受けた配慮

配慮を受けた

配慮を受けていない（どちらかをチェック）

あなたがこれまでに入試や各種試験の受験時に配慮を受けた場合、実施の具体的な状況を以下で詳しく説明してください。その際、受験上の配慮事項に関する決定通知書等客観的な受験上の配慮に関する事実が記載されている資料、もしくはその配慮実施に関わった教員等が作成した資料があれば、添付してください(任意の様式)。

9. これまでに学校生活上で受けた配慮

配慮を受けた

配慮を受けていない（どちらかをチェック）

あなたがこれまでに学校生活上で配慮を受けていた場合、実施の具体的な状況を以下で詳しく説明してください。また、その配慮実施に関わった教員等が作成した資料を添付してください(任意の様式)。

学校名：
在籍期間： 年 月 ～ 年 月 まで

10. 個人情報の取り扱いに関する同意について

私は、日本留学試験で受験上の配慮措置を受けるために提出する「受験上の配慮申請書」に記載した内容と添付資料が日本留学試験 受験案内の「個人情報の取扱いについて」に基づき、取り扱われることに同意します。

本人署名 _____

代理人署名 _____

※本人署名が困難な場合に限り、代理人が署名してください。

以上